



静岡県地方版
第394号
2024-10-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18 早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの 運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
 - 一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
 - 一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

捜査機関の「3つの捏造」を断罪

県本部事務局次長 平塚 倫豊

この一カ月、日本中は「自民党総裁選」に沸き返っていました。石破茂氏に落ち着き、石破政権が誕生しましたが「与野党で十分議論してから国民の信を問うべき」との総裁選での公約はかなぐり捨てて、十月九日解散、十五日公示二十七日投票で走り始めています。「この総選挙で自公政権を打倒しなければならぬ」ということは言うまでもありませんが、少し清水の話をしたいと思います。

自民党総裁決定の前日、九月二十六日、「袴田事件」再審で無罪判決が出ました。昨年三月十三日の再審決定文書の中でも『みそタンクからみつかった5点の衣類』について「一年以上みそ漬けされていたと確定判決が認定した事実合理的な疑いを生じさせる」「事

件から相当時間経過した後に第三者が隠匿した可能性が否定できず、事実上、捜査機関の者による可能性が極めて高い」とまで言及していました。

今回の無罪判決では、さらに踏み込み「睡眠も排尿・排便も許さない取り調べによる自供」「一年以上後に発見された、血の赤みが残った5点の衣類」「袴田宅で後に発見された共布」を警察と検察の連携による「3つの捏造」と断じました。事件から58年、袴田さん本人の頑張りと同周囲の支援者、とりわけ姉・ひで子さんの人生を賭した戦いによって無罪判決を勝ち取りました。

治安維持法犠牲者は、袴田さんよりさらに長く79年間汚名返上ができていません。27日の総選挙で、必ず政権交代を実現し、治安維持法発効100周年となる来年には、間違いなく、国に謝罪をさせましょう。

(静岡市清水区・ひらつか みちとよ)

第二回県本部理事会を開催

10月8日、静岡国労会館において第二回県本部理事会が理事14人の参加のもとに開催されました。

最初に江川会長が開会あいさつ。「いよいよ総選挙。石破首相は、自民党の総裁選で訴えてきた金融所得課税や選択的夫婦別姓導入、全国一律最低賃金といった公約が一切なくなり『納得と共感内閣』どころか『虚偽と幻滅内閣』です。このような内閣を変えていくために国賠同盟としても力を尽くそう」と訴えました。

続いて佐野副会長が情勢報告、早崎事務局長の活動のまとめと当面の活動方針の提起を行い討議をすすめました。

情勢報告は、国内情勢、国際情勢、県内情勢について行われました。9名が立候補した自民党総裁選は27日に投票票を行い、決選投票で石破茂元幹事長が高市早苗経済担当相を制して新総裁に選出されました。10月1日に開会した臨時国会で首相に指名された石破首相は、公明党との連立内閣を発足させましたが、5名の防衛相経験者や党改憲実現本部の幹部を起用するなど、これまでの自民党政権を上回る改憲・タカ派の軍事突出内閣となっています。総裁選時には予算委員会での論戦後に衆議院を解散する構えでしたが、野党の追及で内閣支持率が低下することを懸念し早期解散に方針を転換、9日解散、15日公示、27日投票の日程で進んでいきます。自民党の総裁選投票に先だつて行われた立憲民主党の代表選では、野田佳彦元首相が選出されましたが、野田氏

は、代表選で市民と野党の共闘の原点である安保健法の廃止について「すぐに廃止できない」との立場をとっており、野党共闘の推進に困難をもたらしています。これまで市民と野党の共闘を進めてきた共産党は、安保健法を廃止して立憲主義を回復する立場が明瞭でなくなるならば「共闘の土台が根本から損なわれることになる」と指摘、共闘発展の流れをつくる最大の力となるのは日本共産党の躍進だと訴えています。

同盟建設をすすめつつ総選挙勝利に全力

会員拡大では、西部支部と志太榛原支部で拡大統一行動にとりくむなど意識的な追求を図る中で会員が増えていきます。一大政治戦となる総選挙での前進をはかるために、多くの方との対話をすすめながら同盟の力を大きくすることに力を尽くしましょう。

同盟の活動を前進させていくためには、同盟活動の意義と役割をしっかりとつかむことが欠かせません。いまこのために新たに発刊された「学習テキスト」―治安維持法とは何か―を活用した学習が始まっています。一冊500円のこのテキスト。治安維持法関連資料もふんだんに掲載されています。学習活動を強め確信をもって国賠同盟の運動にとりくむとともに、直面している総選挙で、日本の政治の転換をはかっていくために力を尽くしましょう。

私と国賠同盟

志太榛原支部

加藤 文夫

二年ほど前、「わが青春つぎるとも」の上映会に誘われた。それは映画館ではなく「プラザおおるり」の会議室であった。係りの人達がプロジェクトの調整に手間取っていたが無事上映され安心した事を覚えていた。天皇制政府が国民を抑圧するための治安維持法の下で、命を賭けて人間の自由と民主主義のために戦った伊藤千代子の生涯——は感動的であった。ウチのカミさんや友人達も千代子の節を曲げない強靱な生き方に感動していた。数日後、行き成り「国賠同盟」に入りませんか、と知人が勧誘に来た。定年退職後は再就職の意欲も無く、金も無く、恙(つが)無くのんびりと暮らしていた僕は、もう直に八十歳になろうとしている。認知症の兆(きざ)しもある。今更、勉強だの活動など嫌だなど思ったが、学習会くらいなら参加しても良い・・・という事で、その場凌(しの)ぎも手伝つて入会させて頂いた。元々工場労働者あがりの僕は自信を持って「教養が無いのでゴメン」と開き直れる。「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」などという舌を噛みそうな名前も馴染めないが、組織の目的さえもチンプンカンプンである。それでも何回か学習会に参加しているうちに、「治安維持法」により弾圧を受けた人々と時代の特長、民衆の生き方：などテキストを中心、参考資料の解説や最近の政治情勢など教えてもらっている内、戦前の歴史に興味湧いてきた。僕は1946年生まれたの「戦争を知らない子供たち」世代である。戦前の歴史、特に治安維持法が猛威を振るった100年間の歴史は無知に近い。義務教育ではこの歴史はサラリと流して終了となる。国賠学習会では、稀代の悪法と云われる「治安維持法」の知見だけでなく、現代の政治動向も議論されている。こういう話の出来る場はあまりないと思う。興味があつて暇な人は一緒に勉強しましょう。

結構面白い。

(島田市・かとう ふみお)

同盟員4人が小選挙区候補として奮闘

静岡県の8つの小選挙区のうち、1区鈴木せつ子、5区下山かずみ、7区吉川なおこ、8区ひらが高成の4氏はいずれも国賠同盟の会員で日本共産党の候補者として奮闘しています。日本共産党は小選挙区候補を先頭に共産党への支持を広げるとともに、比例代表選挙の東海ブロック(定数21)で2議席奪還をめざして全力を上げています。

袴田巖さん、再審無罪が確定

9月26日に静岡地裁で再審無罪判決が出されていた袴田巖さんに対して静岡地検は9日、上訴権を放棄、10日の控訴期限を待たずに無罪が確定しました。26日の判決では「3つのねつ造」を認定していました。

浜松平和と文化を考える会が上映会

一昨年11月に浜松地域で「わが青春つぎるとも」の上映会に取り組んだのを契機に作られた「浜松平和と文化を考える会」が11/29と12/1に浜北地域活動研修センターと浜松地域情報センターでドキュメンタリー「島を守る」の上映会を計画。参加費500円。連絡先：浜北会場：木俣(090-3555-3275) 浜松会場：池谷(090-2944-4335)

会員拡大と国会請願署名到達

2024・10・8現在

支部	会員拡大					国会請願署名							
	目標	8月到達	増減	現在到達	うち夫婦会員	団体目標	8月到達	増分	現在到達	個人目標	8月到達	増分	現在到達
伊豆	27	24	-1	23	6	40	0		0	280	0		0
沼駿	60	61		61	16	48	5	+6	11	640	55	+30	85
岳南	25	20		20	6	32	0		0	280	0	+24	24
清水	40	35		35	8	50	2		2	900	15	+15	30
静岡	45	36		36	2	64	0		0	400	5	+30	35
志太榛原	150	145	+1	146	38	50	1		1	500	17	+7	24
中東遠	105	101		101	16	40	9	+5	14	320	74	+62	136
西部	73	81	+2	83	10	64	1	+4	5	600	151	+65	216
県本部	-	-		-		22	1		1	260	0		0
合計	520	503	+3-1	505	102	400	19	+15	34	4,000	317	+233	550

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

(会員の皆さんの作品を適宜紹介します。作品をお寄せ下さい。)

いにしえの人ら暮らし泣き笑い
ともに楽しみ狂言を観る

藤枝市 園田 真弓

冷房など望む能わぬ金型屋
首にタオルで一日の暮れぬ

島田市 松浦 直巳

ビキニ被爆 久保山さん逝かれ七十年
世界が誓う 核の廃絶

静岡市 松浦美智世

編集後記

▼先の自民党総裁選でこれまで自民党内野党を自任していた石破氏が総裁に選ばれ首相に選任されたとたんに手のひら返りでこれまでの主張を翻して解散総選挙に打って出た。裏金議員隠しに世論の批判が高まるもとで石破カラーを出そうと腐心しているが「納得と共感」をえるものとは到底ならない。

▼自民党が公認問題をめぐって党内の混乱がつづく下で、政治を大きく転換できる局面を迎えている。対抗軸としての野党の固まりが定まらないもとは、政治変革の展望を国民にどう示していけるかが大事になっている。

S・H



地しぼりの花

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟
静岡県本部女性部総会 開催!

2024年10月10日
静岡県国労会館にて

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
静岡県 女性部12号
2024年10月15日

以下が今後1年間の活動として承けられました。
緊急な課題や、呼びかけもあるかと思いますが、皆の意見を出し合いながら進めていきます。(いつでもお寄せ下さい)
これからの運動

- ① 月1回の役員会議を開き方針にそった予定をたてます
- ② 女性部ニュース「地しぼりの花」を月1回発行します
- ③ 署名活動やお誘い訪問を女性部として定期的に取り組みます
- ④ 全国女性交流集会への参加をより広く呼びかけます
- ⑤ 先人に学ぶ 学習会と「つどい」を開き交流を深めます
- ⑥ 新時代を切り開いた人たちの足跡を求め歴史探訪(1泊)の旅を計画します
- ⑦ 国際女性デー集会 母親大会に参加します

司会は、勝呂県理事が担当し、進めました。
江川会長のあいさつのもと、芝田部長のあいさつと、議案
提案があり、(今までの経過報告、今後の運動の
方針)次に皆さんの話し合いに入りました。

6年ぶりの総会でして、役員や元役員
の呼びかけで、6支部、9名の方が出席
しました。自己紹介をかねて、それぞれ
の経歴や思いを語りあうことができ
楽しくて有意義だったと感想も寄せ
られました。(内容などは、次回掲載)

参加(出席支部)

沼馬、岳南
清水、静岡
志太、榛原
中東、遠

〈女性部 役員〉
(長)芝田 令子(志太)
勝呂 伸子(沼馬)
大石 潤子(静岡)
若林 志津子(岳南)
(今後増やしていきたい)

第33回全国女性交流集会に参加しましょう!

◆日時 2024年11月10日(日)~11日(月)
◆会場 蒲郡温泉郷 ホテル竹島 (×切は10月23日です)

記念講演 今につながる治安維持法体制に決着を
～ まだ生きている治安維持法 (仮題)

講師は、治安維持法賠償同盟中央本部副会長の小松実さんに決まりました(右・写真)。各地・各所での講演が好評を博しています。「いい話を聞いた。知らないことがずいぶんあると思った。来てよかった」「戦争する国へと暴走する政治の『歪み』がなぜ生まれたかよくわかった」等の感想が寄せられています。来年の治安維持法施行100周年という節目を、治安維持法が、どのように「悪法」であったのか、いま治安維持法体制をどのように打破していくのかなど、お話しいただきます。



しなやかに軽やかに時に強く NO、10 各分野で必死に続けたたかい

「女性を守る会」1946年末結成 11月「日本映画演劇組合」所属の女性2人が夜7時半占領軍MPに逮捕、強制的に検診を受けさせられる。夜の女のかりこみ警察と占領軍

46年1月公娼制度廃止 「赤線区域」

基地周辺の人々は、夜ごと占領軍が公然と家を押しかけて侵入、妻や娘に乱暴する恐怖をしのばなければなりませんでした。

街頭に立つ人4万人に上る。

民主婦人協議会準備会（全通、電産など産別、全国化学、全農林、日教組、都職労、私鉄総連、などの婦人部、婦人民主クラブ、民主保育連盟 など）

1948年第2回 国際婦人デー 5000人集まる。

1948年民主婦人協議会4月17日正式結成 全通、私鉄総連、全専売、石炭産業労組、電機産業労組、化学産業労組、国立医療労組労働組合婦人部を中心とする婦人運動に

【労働組合婦人部は解散せよ】 様々な妨害をはねのけて

日本民主化の本当の担い手である勤労人民を敵視 アメリカのアジアにおける反共基地に

1948年1月 アメリカ陸軍長官ロイナル 中国革命の勝利を前にして、「新しい社会主義の脅威に対し、防壁の役割

日本経済再建

民主主義 運動に分裂と抑圧の政策 労働組合の分裂を策す。

48年2月 国鉄労働組合⇒国鉄民主化同盟、産別会議⇒産別民主化同盟がつくられ、労使協調、反共

48年3月片山内閣以後芦田内閣 成立したが、労働戦線分裂をおしすすめる。

48年1月 労働組合婦人部は将来廃止せよ 占領軍

12月「労組規約および協約に関する指導方針通牒」 労働省青年部、婦人部がつぶされたり、力が弱まる。

しかし、1月17日には、東京都教祖婦人部 男女同一賃金をかちとり、新聞労組の婦人部連絡会結成。産別では、婦人部強化の方針を確立した。

【心の平和か戦争政策批判か 平和確立婦人大会をめぐって】

48年4月 占領軍主導により 官製婦人団体 東京都地域婦人団体協議会

48年9月 主婦連合会 しかし、自力で消費者運動の担い手に

48年5月には、新日本婦人同盟のよびかけ準備会

しかし、分裂平和大会 新日本婦人同盟、民主自由党婦人部、YWCA 平和確立大会 民婦協主催 労組婦人部等

48年7月22日マッカーサー指示 公務員の団体交渉権とスト権を奪う

国際的批判される 政令201号反対運動 職場離脱闘争

清水郵便局では、126名の子供組合員が、「1時間ごとに15分の休憩時間上履きの支給、事務服洗濯用せっけんの支給、カーテンの取付」団体交渉で（8135円の最低賃金も）

9時間交渉 休憩時間を認めさせる。

警察官400人で弾圧 婦人部長ら3人を含む6人が解雇

しかし、各地で続く

次回に続く

日本近代女性史米田佐代子著参考